

秋季特別展

殿さま  
と  
やまもの

—尾張徳川家の名品—

2019. 9/15 (日) — 11/10 (日)

開館時間 / 午前10時～午後5時 (入館は午後4時半まで)  
休館日 / 月曜日 (但し、祝日の場合は翌火曜日)  
観覧料 / 一般 1,400円・高大生 700円・小中生 500円  
※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引  
※土曜日は小中高生入館無料

主催 / 徳川美術館  
名古屋市蓬左文庫  
中日新聞社  
日本経済新聞社  
協力 / 名古屋市交通局

最上級の表道具「上御数寄御道具」、尾張徳川家の「曜変」  
曜変天目(油滴天目) 大名物 中国・金時代 12～13世紀

徳川美術館 蓬左文庫  
THE TOKUGAWA ART MUSEUM HŌSA LIBRARY  
TEL:(052)-935-6262 TEL:(052)-935-2173  
FAX:(052)-935-6261 FAX:(052)-935-2174

〒461-0023 名古屋市東区徳川町

beyond  
2020



秋季特別展

# 尾張徳川家の名品 「やまもの」と「殿さま」

徳川美術館に今日収蔵されている陶磁器はもともと、御三家の一つであった尾張徳川家に、江戸時代・およそ260年もの間、脈々と受け継がれてきた大名道具です。その基礎となっている尾張徳川家初代義直が父・徳川家康より譲られた道具(駿府御分物)には、室町將軍家伝来の品(東山御物)や、織田信長・豊臣秀吉ら天下人が所持した、また武野紹鷗・千利休ら茶人が所持したと伝えられる品など、後に「尾張様所持」と世上に知れ渡っていた数々の道具が含まれていました。それらに加えて多種多様な会席の道具や文房具・御庭焼などが加わって、今日、国内有数と目される大名家伝来の一大陶磁器コレクションを形成しています。

本展覧会は、尾張徳川家伝来の蔵帳類に記載された道具の分類に従って、どのような「表道具」(公式道具)が「上御数寄御道具」として將軍御成のような公式行事の場に相応しいと選ばれていたのか、またはどのような道具が当主の私的な御側御道具に選ばれていたのか、といった、今日の視点とは異なる近世大名の道具の享受のあり方と価値観を、陶磁史・文化史の側面からも読み解きながら、およそ170件の作品で紹介します。



尾張徳川家の「曜変」天目

將軍御成の場を幾度も飾った「上御数寄御道具」

嫁入り道具として持ち出された貴重な南宋青磁

織田信長所用の茶壺

12代当主・斉荘の「御側御道具」となったドイツ製飲酒器

11代將軍家斉を迎える場を飾った花生

- 1 曜変天目(油滴天目) 大名物(「曜変御天目」)  
中国・金時代 12~13世紀
- 2 古瀬戸肩茶入 銘筒井 大名物(「筒井御茶入」)  
日本 室町時代 15世紀
- 3 青磁球形瓶(「青磁経筒御水指」)  
中国・南宋時代 12~13世紀 重要文化財  
東京国立博物館蔵(広田松繁氏寄贈)  
Image: TNM Image Archives
- 4 唐物茶壺 銘松花 大名物(「松花御茶壺」)  
中国・南宋~元時代 13~14世紀 重要文化財
- 5 阿蘭陀焼印花人物文手附水指(「阿蘭陀焼手附御水指」)  
ドイツ 16世紀末期~17世紀
- 6 青磁獅子耳付花生(「高麗瑠瑠御花生」)  
中国・明時代 16世紀

※(「」)内は江戸後期の蔵帳に記載の名称  
※会期中、一部展示替えを行います

## 記念講演会

9/15(日) 「名物が意味するもの—尾張家伝来の茶道具にふれて」  
竹内順一氏(東京藝術大学 名誉教授)  
午後1:30~3:00 定員 150名 ※入館者聴講自由(入館料別途要)

## 秋期講座「尾張徳川家と海外陶磁」(連続2日間・4講座)

9/21(土) 第1日 ①「日本伝来の中国青磁—出土品との比較と生産地—」  
森 達也氏(沖縄県立芸術大学 教授)  
②「尾張徳川家伝来の天目」  
小林 仁氏(大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長代理)

9/22(日) 第2日 ③「徳川將軍家の器—朝鮮通信使がもたらした器と高麗茶碗」  
片山まび氏(東京藝術大学 教授)  
④「(阿蘭陀焼)を考える—舶載ヨーロッパ陶器と倣国産陶磁器」  
長久智子(徳川美術館 学芸部マネージャー)

各回定員120名 ※有料・申込制

## 愛知県陶磁美術館 展覧会情報

8/24(土) あいちトリエンナーレ2019 連携企画事業 特別企画展  
「鐘溪窯 陶工・河井寛次郎展 京都国立近代美術館所蔵 川勝コレクション」  
10/20(日) 本展は、質、量ともに最も充実した河井寛次郎作品のコレクションである  
京都国立近代美術館所蔵の川勝コレクションを紹介します。

## 連携展特別講座

10/3(木) 「河井寛次郎の青年期を振り返って・  
京都市陶磁器試験場における研究活動」  
午後1:30~3:00 佐藤一信氏(愛知県陶磁美術館 学芸課長) ※入館者聴講自由(入館料別途要)

## 土曜講座

10/5(土) 「尾張徳川家伝来の青磁—中近世「唐物」の視点から—」  
午後1:30~3:00 長久智子(徳川美術館 学芸部マネージャー) ※有料

## 担当学芸員によるギャラリー・トーク

10/12(土)・24(木) 各日午後1:00~  
11/9(土) ※入館者聴講自由(入館料別途要)



イベント

## 次回予告

「特別展 良寛さん その人と書」「企画展 奏でる—楽器と調べ—」  
前期:11/16(土)~12/15(日) / 後期:1/4(土)~1/31(金)  
※両展覧会ともに、前期後期にて一部展示替えがあります。

## 徳川園 催事

月を掬う 徳川園観月会  
9/13(金)・14(土)  
夜間開園よる8時30分まで